

ものづくりの基本を伝える新入社員教育

「ものづくり講座——日本一の竹とんぼをつくろう」

4月になり、新年度がスタートすると、当社もフレッシュな新人たちを迎えます。TDKとはどんな会社なのか、またどのような社員であってほしいのかを伝え、学んでもらうのが新入社員研修です。なかでも、この「ものづくり講座」は特にユニークであり、当社が大切にしている「ものづくり」という言葉そのままに、まさに「もの」を「つくる」現場をシミュレートした

ものになっています。ものをつくることの原点と、製品を開発設計し、販売する、利益を出すというメーカーとしての使命を、身をもって体験し、独創性・オリジナリティを生かすTDKのDNAを培う大切な研修です。

新入社員にとって竹とんぼづくりは、TDKマインドを学び、TDK社員として成長していく第一歩となるのです。

開発における基本事項

下記の事項を基本として、製作が進められます。

テーマ：日本一の竹とんぼづくり

ねらい：①メーカーにおける開発から量産までの過程を学ぶ
②実際のものづくりの体験を通して、品質管理・特許申請・原価管理の基礎知識を学ぶ

内容：①3人1組で出展用のオリジナル「竹とんぼ」(製品)を1個製作する
②スケジュールに沿って、各種シートを作成し、期限までに提出する
③製品を竹とんぼショーに出展し、相互に売り込みを図る
④各賞の上位者を表彰する

竹とんぼの定義：

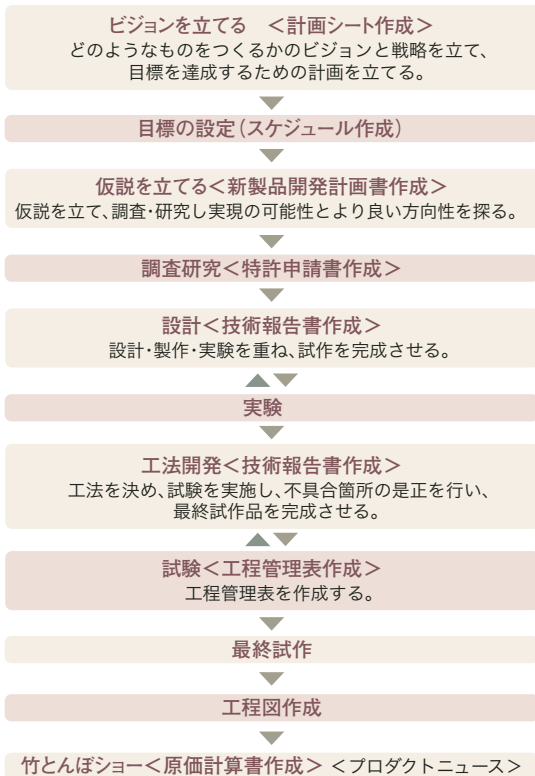
- ①回転して上昇し、3秒以上空中に浮遊すること
- ②羽などの飛ぶ部分の材料には、竹を使用すること

評価ポイント：

竹とんぼづくりの開発過程で作成する各種書面の内容、竹とんぼを売るためのプレゼンテーション、売上、利益の4つの要素において最も高得点を出したチームが総合優勝となる。



進め方



審査

結果発表

竹とんぼショーに出展し、売り込みを図る。

竹とんぼショーへの出展を認められたチームは、自分たちの竹とんぼを売り込むためのプレゼンテーションと店頭販売を実施。その後仮想資金による投票が行われ、売上・利益のランキングが発表されます。



設計図面



試作された竹とんぼ



実際に飛ばしてみる



発表風景

ハイライト

3

社会貢献

音楽教育プログラム

「公開リハーサル」と「アウトリーチミニコンサート」

当社の社会貢献活動は、社是「創造によって文化、産業に貢献する」という企業精神がベースになっています。当社はカセットテープに始まり、ビデオテープ、CD-R、DVD…と記録メディアのビジネスにおいて、長く音楽と関わりを持ってきました。21世紀を迎え、音楽を通じて社会に貢献できないかという

思いから、「時代や国境、そして世代を超えた世界共通語」であるクラシック音楽に関わる企画が生まれました。音楽を学ぶ人たちを対象にした世界一流のオーケストラの公開リハーサル鑑賞、そしてそのオーケストラ楽団員に学校へ出向いて演奏してもらうアウトリーチ(出張)ミニコンサートです。

TDKオーケストラコンサート2005 公開リハーサル

(サー・サイモン・ラトル指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

2001年からスタートしたTDKオーケストラコンサート公開リハーサルは、普段なかなか目にするのできない世界の一流指揮者と楽団員が行う、生のリハーサル現場に立ち会い、その音作りを体験するという貴重なプログラムです。毎年、

その場のやりとり、熱心にメモをとる方や、わずかな指導で音が変わる様に驚いた表情で見つめる参加者がいます。2005年は、200名募集のところ、約2,000通を超える応募があり、音楽を学ぶ方々に注目されています。



2005年TDKアウトリーチミニコンサート

(ベルリン・フィルハーモニー・プラス・クインテット 東京・日本橋中学校にて)

より若い人達に、世界一流のクラシック音楽に触れて興味をもってもらいたいという思いで、2003年からは、TDKオーケストラコンサートの楽団員に、ボランティアで小中学校を訪問し、演奏していただくという企画を行っています。2005

年は、楽団員の演奏に加え、出向いた中学校の吹奏楽部員との合同演奏も実現しました。若い人達の夢が広がるきっかけになることを期待しています。



今後は、より若い世代の「教育」や「育成」という点に重点をおき、学生を対象とした社会貢献教育プログラムとして独自の活動につなげていきます。